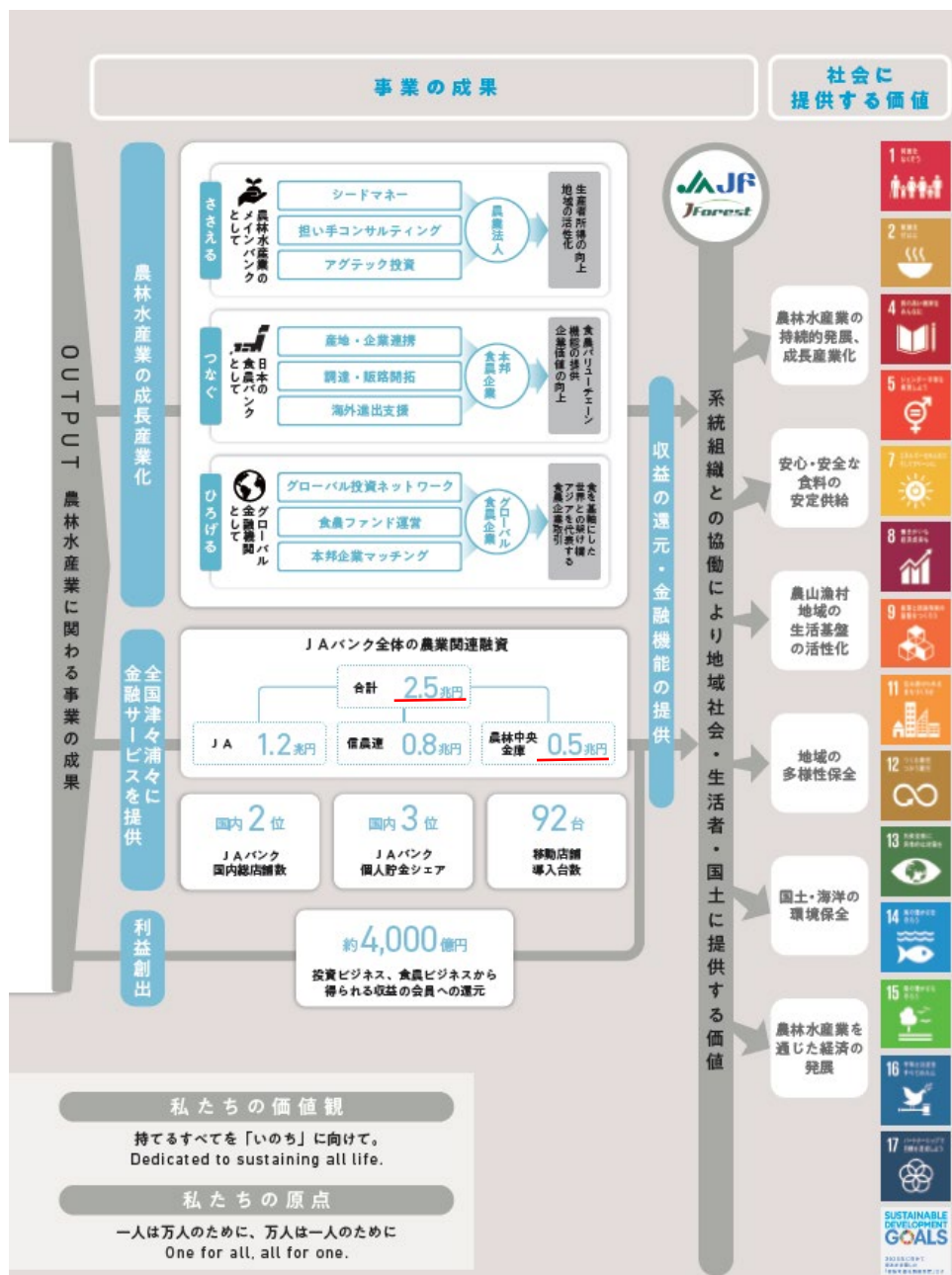


【VALUE REPORT 2020】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P21

JAバンク全体の農業関連融資（訂正前）



【VALUE REPORT 2020】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

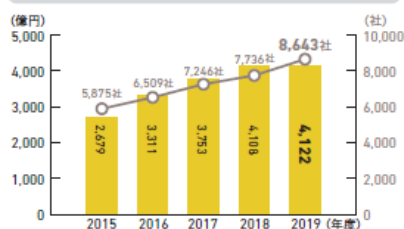
P41

JAバンクの農業関連融資（訂正前）

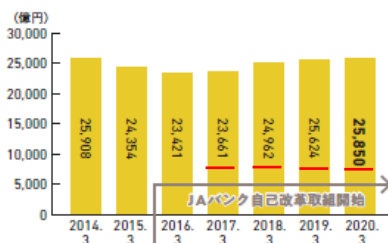
JAバンクの農業関連融資



農業融資新規実行額（長期）と農業法人の取引社数の推移

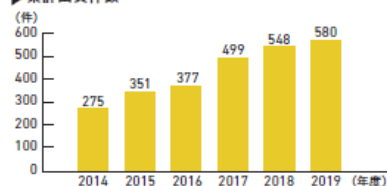


農業関連融資残高

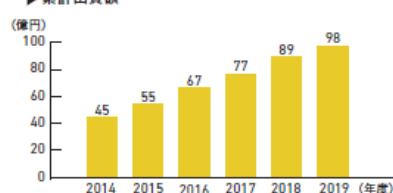


アグリビジネス投資育成（株）を通じた農業法人等への出資

▶累計出資件数



▶累計出資額



“農”の分野で積極的な投融资

JAバンクはこれからも「農業のメインバンク」へ

農業向けの融資についても、JAバンクはJA・信農連・農林中央金庫で役割を分担しています。小規模な農家・農業法人の資金ニーズについては地域のJAが対応し、大規模な農家・農業法人などに対しては信農連と農林中央金庫が中心になって応えます。

この結果、JAバンクの農業関連融資はJAが1.2兆円、信農連が0.8兆円、農林中央金庫が0.5兆円で、合計2.5兆円となっています（JAバンクが窓口となる日本政策金融公庫の受託を含む）。

JAバンクの農業関連融資残高はしばらく微減ベースが続いてきましたが、農業法人へのアプローチを強化した結果、2017年3月末には、前年度比で増加に転じました。半年度の農業融資新規実行額も、取組みを強化した

2016年度以降、増加を続けています。

さらに、融資のみならず、出資にも対応しています。たとえば技術力はあるものの資本不足の農業法人に対して、財務を安定化させる出資を行うなど、農業法人の成長ステージに応じたリスクマネーの供給にも積極的に取り組んでいます。これにより、JAグループと日本政策金融公庫が共同で設立したアグリビジネス投資育成（株）を通じた出資件数・出資金額は着実に積み上がっています。

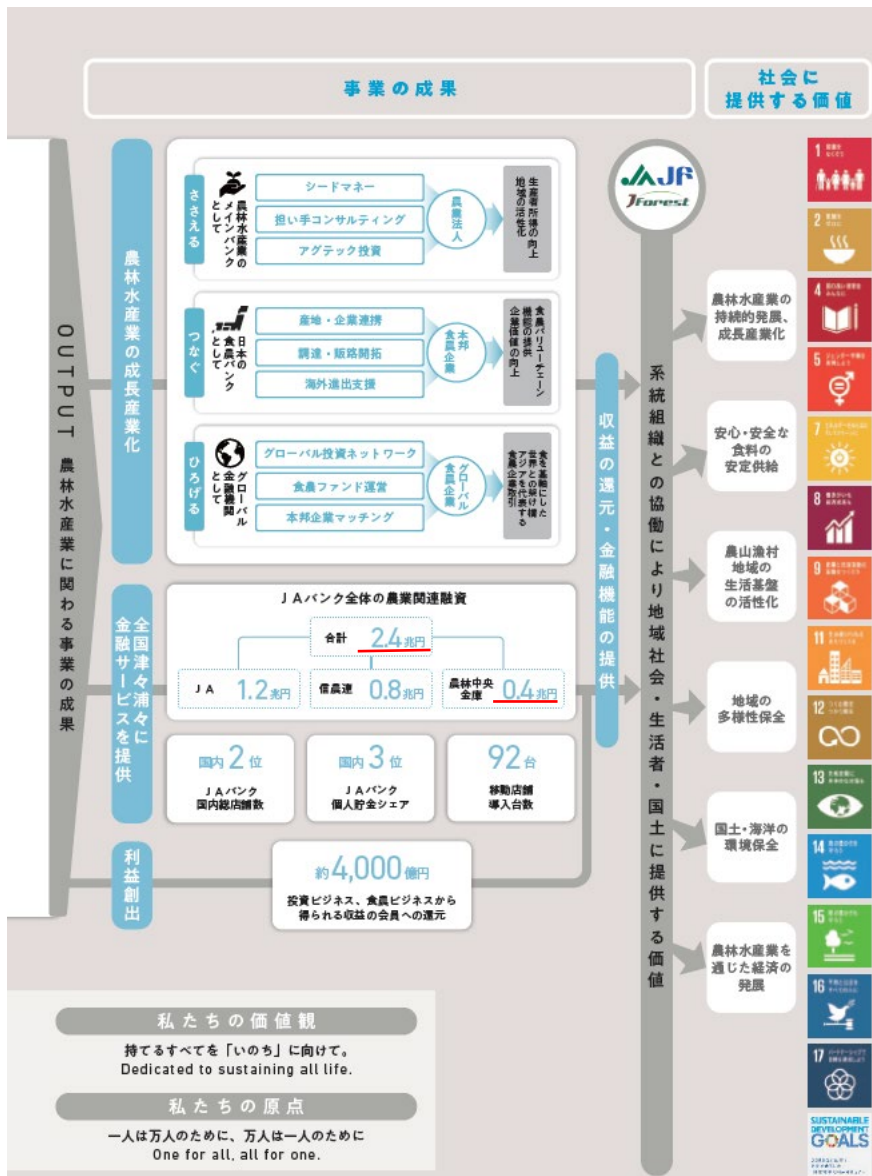
また、JAバンク・JFマリンバンクは農業そして漁業地域のメインバンクとして、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けているお客様に対して、全国で低利子融資の取扱いを開始するとともに、既往貸出金の返済条件の変更を含めたご相談に対応しています。

【VALUE REPORT 2020】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P21

JAバンク全体の農業関連融資（**訂正後**）



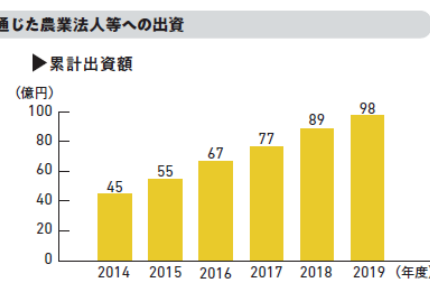
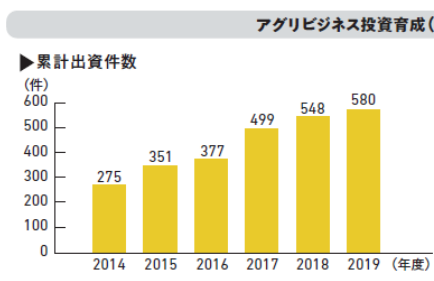
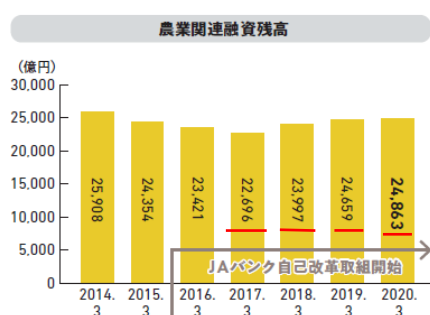
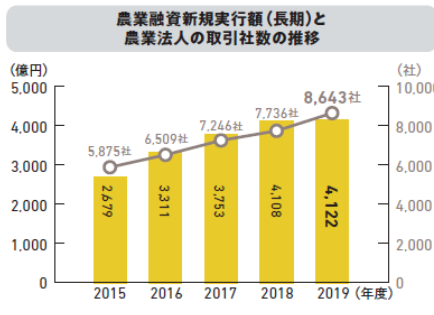
【VALUE REPORT 2020】

本冊子の内容を以下のとおり訂正します（訂正箇所は下線部）。

P41

JAバンクの農業関連融資（訂正後）

JAバンクの農業関連融資



“農”の分野で積極的な投融资 JAバンクはこれからも「農業のメインバンク」へ

農業向けの融資についても、JAバンクはJA・信農連・農林中央金庫で役割を分担しています。小規模な農家・農業法人の資金ニーズについては地域のJAが対応し、大規模な農家・農業法人などに対しては信農連と農林中央金庫が中心になって応えます。

この結果、JAバンクの農業関連融資はJAが1.2兆円、信農連が0.8兆円、農林中央金庫が0.4兆円で、合計2.4兆円となっています（JAバンクが窓口となる日本政策金融公庫の受託を含む）。

JAバンクの農業関連融資残高はしばらく微減ベースが続いてきましたが、農業法人へのアプローチを強化した結果、2017年3月末には、前年度比で増加に転じました。単年度の農業融資新規実行額も、取組みを強化した

2016年度以降、増加を続けています。

さらに、融資のみならず、出資にも対応しています。たとえば技術力はあるものの資本不足の農業法人に対して、財務を安定化させる出資を行うなど、農業法人の成長ステージに応じたリスクマネーの供給にも積極的に取り組んでいます。これにより、JAグループと日本政策金融公庫が共同で設立したアグリビジネス投資育成(株)を通じた出資件数・出資金額は着実に積み上がっています。

また、JAバンク・JFマリンバンクは農業そして漁業地域のメインバンクとして、新型コロナウイルス感染症拡大により影響を受けているお客様に対して、全国で低利子融資の取扱いを開始するとともに、既往貸出金の返済条件の変更を含めたご相談に対応しています。